

ホームページでの評価結果公表様式

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 一之宮愛児園

発効：平成28年3月16日
(平成31年3月15日まで有効)

株式会社フィールズ

第三者評価結果

事業所基本事項

フリガナ	イチノミヤアイエン
事業所名 (正式名称を記載)	一之宮愛児園
事業所住所 最寄駅	〒253-0111 神奈川県高座郡寒川町一之宮 8-3-1 JR 相模線 寒川駅 下車 徒歩 15分
事業所電話番号	0467-75-0729
事業所 FAX 番号	0467-75-3796
事業所代表者名	役職名 園長 氏名 岡本 政江
法人名及び 法人代表者名	法人名 社会福祉法人恩賜財団神奈川県同胞援護会 法人代表者氏名 会長 加茂坂 幸昌
URL	
e-mail	http://www.kidslink.jp/ichinomiya-aijien/
問合せ対応時間	7:00~19:00

事業所の概要 1

開設年月日	昭和 38 年 4 月 1 日
定員数	180 名
都市計画法上の用途地域	市街化区域
建物構造	鉄筋造り 2 階建て
面積	敷地面積 (1,594.00) m ² 延床面積 (1,208.780) m ²

事業所の概要 2 (職員の概要)

総職員数	35 名
うち、次の職種に該当する職員数	園長 (1 名)、副園長 (1 名)、主任 (2 名) 保育士 (27 名) 保健師・看護師 (名) 栄養士 (名) その他 (事務員等 名 調理員 4 名)

事業所の概要 3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後 6 ヶ月～小学校就学未満	
延長保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	備考:
休日保育の実施	<input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	備考:
一時保育の実施	<input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	備考:
障害児保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	備考:

保育の方針

- ① 子どもを人格あるひとりの人間として尊重し、理解していく。
- ② 成長の発達段階を踏まえ生活・あそび・教育・環境を通しての総合的保育をめざす。
- ③ 保護者との連携をとり、一緒に子どもを育てていく。
- ④ 保育の質の向上を図るために、専門性と人間性を深める努力をする。

第三者評価結果

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

<優れている点>

1. 食に対する様々な体験を通し、自然に食に興味を持てるようにしています

子どもたちからのリクエスト給食や自分の好きな部屋で食べることが出来る自由食、自分で自分の食べられる量だけ取り分けるバイキング給食など子どもたちの希望を給食に反映しています。「ラッキーさん」は給食のお皿の裏にラッキーさんのシールが貼ってあると当たりで、その子の願い事が叶えられるようになっていきます。「好きな食べ物を大盛りにする」「調理員さんと一緒に食べることが出来る」など子どもたちの願いが叶えられ子どもの楽しみになっています。また、1日2人が事務室で園長先生たちと一緒に給食を食べることも出来ます。そこでは保育室とは違った子どもの姿が見受けられます。

年長になると、保育室でカレーを作ってお昼に食べます。行事では、お父さんたちとお餅付きをしたり、どんと焼きの団子作りやイモ掘り後の焼き芋、炊き出し訓練のご飯炊きなど様々な体験をしています。畑で子どもたちが育てた野菜は子どもたちが収穫し給食で出されます。皆で育てたささげはお赤飯になりました。このような様々な体験を通して食に対して自然に興味がわくような取り組みをしています。

2. 外遊びを通じて体力向上に取り組んでいます

乳児は主に園庭で、幼児は第二グラウンドでの戸外活動を積極的に行っています。スペースが別にあることで幼児クラスは乳児の姿を気にすることなく、鬼ごっこやかけっこでグラウンド内を思う存分走りまわっています。乳児も園庭で三輪車など年齢に合わせた遊具を使ったり、さらに小さな子に気をつけながら思い思いに遊んでいます。気候に合わせた外遊びや散歩、午睡後にも外遊びを取入れ、子どもたちの年齢に応じて体力向上につながるよう、戸外活動に取り組んでいます。

3. 充実した異年齢保育を行っています

日々の戸外活動に限らず、全園児対象の毎月の誕生会、お弁当を持っての園外保育、祖父母とのお楽しみ会、発表会、お店屋さんごっこなど異年齢で取り組む行事を数多く取入れています。発表会などは、保護者の参加人数と会場の広さの関係で、0・1歳児組と2・3歳児組、4・5歳児組に分かれて行っています。お別れ遠足も5歳児だけでなく3～5歳児で行い、小学生になる5歳児へのあこがれと小さい子どもたちへのいたわりの心を持てるよう取り組んでいます。

<独自に工夫している点>

1. 地域の子どもたちの支援に取り組んでいます

園庭は毎日解放して、地域の子どもたちは保育園児と一緒に遊んでいます。法人が運営する寒川町の3保育園が合同で「保育園で遊ぼう」を年7回開催しています。どろんこ遊びや夏まつりなど思考を凝らして子どもたちが楽しめる内容となっています。お母さん同士の友達作りのきっかけや、交流の場となっています。終了後にはアンケートを実施し、次回に活かしています。

2. 登降園時の子どもの見守りに配慮しています

保護者による子どもたちの送迎は、ほとんどの人が車を利用しています。通園、降園時の車の利用状況や、保護者の送迎マナーへの支援、園舎までの通路における子どもたちの見守りと安全確保を目的に、専属の嘱託職員を毎朝夕に配置しています。登園時には毎日職員が、門の所立って子どもや保護者とあいさつをかわしています。

<改善すべき事項>

1. マニュアルの最新版への統一と整備

基本業務マニュアルとして、「職員の心得、法人としての保育理念、」を筆頭に、安全管理、事故対応、食物アレルギー対応などのマニュアルがあります。さらに保育士に求められる姿勢をまとめた「保育の目安と姿勢（職員アンケート）」を、日常の保育に反映しています。内容は「自分が考える良い保育」などをまとめたものですが、一つの項目に複数の重要な事項が混在していることも見受けられます。これらの項目を整理すると共に、最新の状況に合わせたマニュアルにすることが期待されます。また、基本業務マニュアルは、作成し、改訂した時期が不明です。作成日、改訂日を明記し、最新版としての活用が期待されます。

2. 保護者との交流への工夫

行事予定表には、「保育参観はいつでもどうぞ！お待ちしております」と明記し、行事や誕生会などには、多くの保護者が参観しています。入園当初に0歳児には職員と一緒に保護者が子どもに食べる体験をしてもらっています。その他に参観の機会がありますが、保護者が保育を体験する保育参加は実施していません。職員による子どもたちへの取り組み、子どもたちがどの様に育っているのかなどを保護者に理解してもらうため保育参加を行事の一環として取り組むよう検討されることが期待されます。また、クラス懇談会を年1回行い、その内容を玄関に掲示しています。しかし、懇談会参加者だけでなく、欠席者には掲示だけでは読み取れないこともあります。議事録の作成・配布や説明するなど保護者に理解してもらえるように伝える工夫が期待されます。

3. 遊具類の安全確保

基本業務マニュアルとして、各種のマニュアルがあります。しかし、マニュアルの中で安全確認シートの確認項目欄では、遊具について複数の遊具のチェックが1カ所のみで、どの遊具が安全なのか、配慮が必要か判断出来ません。子どもたちが直接に接する部分ですので、遊具の安全や衛生確保を十分に行うための検討・見直しが期待されます。

評価領域ごとの特記事項

1	人権への配慮	<ul style="list-style-type: none">① 保育理念や基本方針を明確に掲げ、子どもたち一人一人が心身ともにより良い成長ができる保育に取り組んでいます。法人の基本業務マニュアルの職員の心得として「職員としての自覚」「利用者への配慮」「保育に関しての注意」の項目を設け、職員は日々の保育、保護者との関わり方について常に活用しています。② 法人の服務規律及び保育所保育指針解説書をもとに、職員会議や乳児部会、幼児部会で話し合い、子どもたちがお互いの差異を自然に受け入れられるよう支援しています。③ 「個人情報保護に関する基本方針」が整備されており、職員は個人情報の取得、利用、管理や守秘義務について、入職時に研修で学び、個人情報保護等に関する誓約書を提出しています。保護者には、個人情報の利用目的や管理方法を説明し、同意した項目に関する「個人情報の使用に関する同意書」を得ています。職場体験、保育実習ボランティア、実習生についても同様に説明し、了解を得て「個人情報保護に関する同意書」を得ています。
2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<ul style="list-style-type: none">① 基本方針に「保護者と連携を取り、一緒に子どもを育てていく」を掲げています。えんだより、クラスだより、食のたより、個人面談、クラス懇談会など様々な方法で情報共有し、信頼関係構築を図っています。② クラス懇談会、お誕生会などの各種親子行事後のアンケートのほか、16項目の利用者アンケートを行い、保護者の意見・要望を把握しています。保護者からの提案、要望については、職員会議で評価分析し、各質問に対し対応策と今後の課題として整理し、書面で保護者に回答・配付しています。③ 子どもたちは、誕生会、保育発表会や生活発表会などの機会に、みんなの前で自分の想いを言葉や絵で表現し発表するとともに、友だちの想いや気持ちも感じられる活動を取入れています。保育発表会では、子どもたちのアイディアや意見を取り入れた小道具の剣や衣装を決め、子どもたち皆で完成させ、表現することの喜びを味わえるように支援しています④ 子どもたちに人気の給食メニュー（リクエスト給食）や、子どもたちが好きな部屋で食べられる自由食があります。皿の裏に特別なシールがあると好きな食べ物を大盛りに出来たり、調理員さんといっしょに食べたり出来るラッキーさんという取り組みを行い、給食を楽しく食べる工夫を行っています。

3	サービスマネジメントシステムの確立	<p>① 苦情解決の仕組みについては、お知らせや重要事項説明書（保育園のしおり）に記載され、入園時に重要事項説明書をもとに説明すると共に園の玄関に掲示しています。苦情受付担当者として副園長、苦情解決者として園長、第三者委員3名（民生委員、主任児童委員等）と法人本部や神奈川県社会福祉協議会運営適正委員会などの窓口と苦情解決の方法を、玄関に掲示しています。現在まで、第三者委員と相談する苦情は、寄せられていません。</p> <p>② 安全管理マニュアル、衛生管理マニュアルなどで、衛生管理、安全管理を行っています。健康管理マニュアルを用いて、保護者と連携して子どもたちの健康管理を行っています。衛生管理、健康管理、感染症対応、薬の依頼書、事故防止マニュアルなどを整備しています。日々子どもたちの健康観察から、緊急時や体調不良児対応についての健康確認票、軽傷等の記録などから、保護者と連携して健康管理を行っています。</p> <p>③ 防災計画を定め、月1回の防災訓練と年4回の防犯訓練計画を作成し、火災・地震・不審者など様々な場面を想定した訓練を実施しています。寒川町の災害時における保幼小中学校合同引取り訓練と園庭での炊出し訓練を行っています。法人の系列保育園（旭保育園、さむかわ保育園）3園で寒川町と「災害時における一時避難場所に関する協定」を締結し、地域住民を受け入れる体制を築いています。また、園児用に食料などを200人が5日間生活出来る様、備蓄を行っています。</p>
4	地域との交流・連携	<p>① 法人が運営する一之宮愛児園、旭保育園、さむかわ保育園の3園共催の「保育園であそぼう！」を年6～7回開催し、地域の子どもたちや未就園児向けの取組みを行っています。乳児向けの内容を取り入れ、お母さん同士の友達作りのきっかけや、交流の場となっています。月曜日～金曜日の午前中に園庭を解放し、地域の子どもと一緒に遊べるようにしています。10月に3園合同で行った「赤ちゃんルーム」は、乳児の保護者に人気のプログラムとなっています。</p> <p>② 園の近隣に公園が少なく、大型の遊具も少ないため、園庭解放は、近隣の親子にとって、安心して遊べる、遊具が使える貴重な場所として、また同じ年齢の子どもたちと一緒に遊べるのが、喜ばれています。運動会では、未就園児用プログラムを取入れたり、夕涼みに招待するなど地域との交流を図っています。園行事には、伝承行事であるどんど焼きを取入れ、子どもたちは自分たちで作った団子を柳の木にさして焼き食べています。</p> <p>③ 寒川町保幼小教育連携会議、南小学校評議委員会や子どもサポートネットワーク会議に参加し、家庭及び地域社会において健やかに子どもが成長、発達できるよう、育児不安を抱えた家庭の子育てを支援しています。</p>
5	運営上の透明性の確保と継続性	<p>① 事業計画などをもとに、園の自己評価を毎年実施し、第三者評価を5年に1回受審することを明記しています。職員は、県社協方式の自己評価シートと、法人作成の自己分析シートを用いて自己チェックを行っています。全職員による4グループでミーティング日時から、検討内容、まとめを行っています。その結果を持ち寄り、園長、副園長、</p>

		<p>とグループリーダーで検討しまとめ、園の自己評価としています。</p> <p>② 園の行事や「保育園にあそびにおいて！」のポスターを、園のフェンスだけでなく、農協や商店の店頭に掲示して、参加を呼び掛けています。見学者や行事での参加者にも、園が取り組んでいる事が分かるよう、玄関には、保育目標や保育課程、行事予定を掲示しています。</p> <p>③ 年間行事予定表で、いつでも保育参観や育児相談を受け付けている事を説明し、個人面談、クラス懇談会の予定を明記しています。午睡明けの子どもの様子を見られるように、懇談会の開催時間を決めています。毎月の誕生会は全園児対象にホールで行い、保護者も自由に参加し、子どもの成長を職員と共に祝っています。</p>
6	職員の資質向上促進	<p>① 保育理念、基本方針は、保育課程に明記し、年間指導計画、個別支援計画に反映しています。保育理念、基本方針、保育目標は、玄関にも掲示し、保護者や見学者にもわかり易くなっています。職員は、毎朝の職員ミーティングで保育理念、基本方針、保育目標の各項目の内一つを順に復唱し周知を図っています。</p> <p>② 法人の職員研修計画をもとに、神奈川県社会福祉協議会、茅ヶ崎教育センターや保育士養成短期大学などの外部研修に計画的に参加しています。研修計画は、職員の経験・資質に合わせる研修と職員希望の研修をもとに作られています。職員は、研修終了後復命書（研修報告書）を作成・提出し、園内研修の研修報告会で研修内容を発表し、職員間の情報共有を行っています。復命書と研修時の資料をまとめて事務所に保管し、職員はいつでも閲覧できます。</p> <p>③ 保育実習生・保育ボランティア受け入れマニュアルがあり、次世代の保育士を育ててゆくことと、実習指導を通じて職員自身も育ててゆくことを目指しています。実習プログラムは、学校側の要請に合わせています。実習中は毎日実習ノートを用いて実習内容などの確認を行っています。平成26年度は9名の実習生を受入れており、平成27年度も同数の実習生受け入れを行っています。</p>

2. 評価項目に基づく評価の結果

大項目1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目1全体を通してのサービスの達成状況 (調査確認事項全80事項)	97.5%
---------------------------------------	-------

大項目1の内容(概要)

1	人権の尊重 (8事項)	①子どもや保護者に対する態度や言葉遣い (3事項)	3/3	8/8
		②出生や国籍、性差などによる差別の禁止 (3事項)	3/3	
		③虐待予防や早期発見のための関係機関との連携 (2事項)	2/2	
2	プライバシー確保 (7事項)	①プライバシー確保への配慮 (3事項)	3/3	7/7
		②実習生などへのプライバシー確保 (3事項)	3/3	
		③個人情報保護の体制整備 (1事項)	1/1	
3	家庭と保育園との 信頼関係の確立 (6事項)	①家庭との連絡、情報交換の体制 (2事項)	2/2	6/6
		②家庭の意向・希望の把握 (2事項)	2/2	
		③意向・希望の記録・管理 (2事項)	2/2	
4	苦情解決システム (8事項)	①苦情解決の担当者・責任者の公示 (2事項)	2/2	8/8
		②苦情解決の記録 (2事項)	2/2	
		③第三者委員に設置、実施 (3事項)	3/3	
		④理事会への報告 (1事項)	1/1	
5	環境整備 (8事項)	①温度や湿度等の管理 (2事項)	2/2	7/8
		②洗剤等の危険物の管理 (2事項)	2/2	
		③おもちゃ、遊具等の管理 (2事項)	2/2	
		④遊具などの安全保持 (2事項)	1/2	
6	健康管理(感染症対策 ・救急救命を含む) (14事項)	①体調不良児、けがへの対応 (2事項)	2/2	14/14
		②体調不良児への対応 (2事項)	2/2	
		③ケガなどへの対応 (2事項)	2/2	
		④感染症予防への情報提供 (3事項)	3/3	
		⑤感染症発生時の対応 (2事項)	2/2	
		⑥救急事態発生時の医療機関・家族等との連携 (3事項)	3/3	
7	危機管理(防災・防犯) (8事項)	①火災や震災等の対応 (3事項)	3/3	8/8
		②日常の防災・防犯体制の整備 (2事項)	2/2	
		③災害発生時の地域支援体制 (3事項)	3/3	
8	地域の子育て支援 (6事項)	①地域内の子育てニーズの把握と支援 (6事項)	6/6	6/6
9	自己評価と情報開示 (6事項)	①自己点検・改善活動の実施 (2事項)	2/2	5/6
		②地域への情報提供、情報開示 (2事項)	2/2	
		③見学や保育参観の機会の設定 (2事項)	1/2	
10	職員研修 (9事項)	①理念などの職員への研修実施 (3事項)	3/3	9/9
		②年間を通しての研修計画 (2事項)	2/2	
		③外部研修の共有化 (2事項)	2/2	
		④実習生の受入れ、指導 (2事項)	2/2	

78/80

大項目 2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(1) 子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 家庭だけでなく、園でも大事にされやさしく抱いてくれる人がいる事を感じられるように微笑みかけながら声をかけ、心身の健やかな発達の土台となる、人との信頼関係をつくるようにしている。</p> <p>② 視診 登園 降園で子どもの状態を確認している。</p> <p>③ 登降園の際、固定の保育士がおり、子どもの心の安定をはかっている。</p>	<p>① 職員は子どもの目を見て微笑みかけながら声掛けをしたり、抱いたり、手をつないだりとスキンシップを大切にして、信頼関係を深めています。子どもが安心できるように常に意識しています。</p> <p>② 登園時に職員は、門の所に毎日立って子どもや保護者とあいさつをかわしています。その時の様子で気になることは担任に繋げています。園内では毎日視診を行い、家庭での様子を聞き、一人一人の体調を把握し、子どもを温かく受け入れています。</p> <p>③ 登降園の際の早番と遅番の職員は固定の職員を配置しています。登降園は固定の職員が対応するので、子どもや保護者と信頼関係が出来、安心感が得られます。担任との連携や引き継ぎも、漏れのないように確実にしています。</p> <p>(観察、ヒアリング、年間指導計画、職員配置図で確認しました)</p>
<p>(2) 子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを育てるためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 子どもの気持ちを代弁して相手の思いに気付けるようにしている。</p> <p>② 縦割り保育を取り入れ、違う年齢の友達を知る事が出来るようにしている。</p> <p>③ いいところ探しをしている。</p>	<p>① 子ども同士のかかわりの中で、うまく自分の気持ちが表現出来ずに手が出たしたりする子どもの気持ちを受け止め、職員が代弁することで、相手に自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気づくなど、友達と関わり遊べるように援助をしています。</p> <p>② 遊びや散歩など縦割り保育の中で自然に大きい子は小さい子の世話をしたり、小さい子は大きい子への憧れの心が育っています。</p> <p>③ 職員が子どものいいところを探して褒めたり、子ども同士でいいところを探して褒め合っています。他者と自分を大切にすることを育てています。</p> <p>(ヒアリング、保育日誌、年間指導計画で確認しました)</p>
<p>(3) 子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 年令に応じた当番や係の仕事、保育士から頼まれたお使いをすることにより人に認められる喜びを味わえるようにしている。</p> <p>② 実習生の受け入れ、近隣の小中高と連携して職場体験、警察、消防など様々な職業の人と触れ合う機会を設けている。</p>	<p>① 給食当番、ゴミ当番、飼育当番、水やり係、お使いなど、自分の役割を果たす中で、人から感謝され、認められる喜びを味わえるように支援しています。</p> <p>② 保育実習生や小学生による職業インタビュー、中、高生の職場体験などを積極的に受け入れています。4月には警察署による交通安全保育室、秋には消防署による防災の集いが開かれ、婦警さんや消防士さんと触れ合う機会があります。</p>

すか	<p>③ 近所の方が、来園者、見守りの方やおじいちゃんおばあちゃんとお楽しみ会等で保育士が挨拶する姿を見せ大切さを知らせている。</p>	<p>③ 近所の方が庭でとれた柿や花を持って来てくれたり、園舎までの通路で子どもたちを見守る囁託職員のおじさんと毎日声掛けをし合ったり、身近な所で色々な人のかかわりを多く持っています。</p> <p>(ヒアリング、年間指導計画、年間行事予定で確認しました)</p>
<p>(4) 生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 乳児クラスは絵本や紙芝居などを通じて子どもたちが興味を持ったこと、反応したことに合わせて言葉を返したり、繰り返しの言葉やリズムのある言葉を言ったりして楽しめるようにしている。</p> <p>② 幼児クラスでは、異年齢の友達と共にかごめ、はないちもんめなどのわらべうた等で遊ぶ工夫をしている。</p> <p>③ お店屋さんごっこでは、クラス内で意見を出し合い手作りの作品を共同で作る。年齢なりの参加の仕方に関わり、クラスだけの取り組みから他クラスへと交流を広げていくようにしている。</p>	<p>① 乳児クラスでは、1日1回以上絵本や紙芝居を見ています。その中で子どもが興味を持ったり反応したことに合わせて歌を歌ったり、リズムのある言葉を言い合ったりして、言葉のやり取りを楽しんでいます。</p> <p>② 園庭で職員は、「かごめ」や「はないちもんめ」などを子どもたちと一緒に歌って、異年齢の子どもたちとかかわれる昔からのわらべ歌で楽しく遊べるよう支援しています。</p> <p>③ 子どもたちが楽しみにしているお店屋さんごっこでは買い物をする楽しみ、売り子さんになる楽しみを体験しています。商品はみんなで話し合って作成します。年長さんがお金を作りお財布に入れてくれます。近所の親子も参加し大賑わいです。</p> <p>(ヒアリング、掲示、年間行事予定で確認しました)</p>
<p>(5) 生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 誕生会、保育発表会、生活発表などで皆の前で話したり友達の話の聞いたりして楽しむ機会を作るようにしている。</p> <p>② 郵便ごっこを通し自分の想いを言葉や絵で表現し小さいクラスや給食室に手紙を届け交流を楽しむよう工夫している。</p> <p>③ 実習生等に対し自己紹介の場を作り自分を知ってもらえる喜びを感じられるようにしている。</p>	<p>① 誕生会では、全員が1年に1回皆の前であいさつをします。保育発表会や生活発表会では年長さんが司会をしています。日常生活の中で、大勢の前で自分の意見や夢を発表する機会を設けています。</p> <p>② 自分でテーマを決めて友達の前で自分の話をしたり、聞いたりすることを3歳位から始めています。郵便ごっこでは、自分の好きな子にはがきを書いたり、給食室に手紙を届けたりして、楽しんで交流をしています。</p> <p>③ 実習生など様々な人と触れ合う中で、自己紹介の場を作り、自己アピールが出来る機会を多く持っています。</p> <p>(ヒアリング、保育日誌、観察で確認しました)</p>
<p>(6) 生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取</p>	<p>① 園外保育で子どもが集めた木の葉や葉っぱを使って製作を行っている。</p> <p>② 生活の中で音楽に合わせて体を動かしたり歌を歌ったりする活動を取り入れ楽しめるようにしている。</p>	<p>① 園庭や散歩などで葉っぱや小枝などを集めて持ち帰り、それらを材料にして子どもたちは様々に制作を楽しんでいます。</p> <p>② リトミックを取り入れ、音楽に合わせて体を動かしたり、歌を歌ったり、子どもたちは身体全体で楽しんでいます。</p>

<p>り組みをしていますか</p>	<p>③ 行事や遊びの中で印象に残ったことを絵や粘土等で表現できるようにしている。</p>	<p>③ 運動会の出来事を子どもたちと話をすることから、運動会の印象を絵にすることになり、楽しい思い出を絵で表現する事に集中して取り組んでいます。日頃から、クレヨンや粘土等で楽しみながら表現をする取り組みをしています。</p> <p>(ヒアリング、保育日誌、年間指導計画、掲示で確認しました)</p>
<p>(7) 生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなと一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 運動会ではクラス対抗リレーを行ったり、学年で1つのリズム表現を通して皆で表現する喜びを味わえるようにしている。</p> <p>② 保育発表会へ向けて生活や遊びの中に歌や踊りを取り入れ、小道具や衣装のアイデアも子どもたちの意見を取り入れることで、皆で1つの物を作り上げ表現することの喜びを味わえるようにしている。</p> <p>③ 大勢の前で表現することを通して自信が持てるようにしている。</p>	<p>① 普段の生活の中で、音楽に合わせて体を動かしたり、歌を歌ったりする活動をしています。運動会では、バルーンや組体操を行い、皆と一緒に作り上げ表現する喜びを得ています。</p> <p>② 保育発表会では、子どもたちと話し合いを持ち、小道具の剣や衣装について子どもたちのアイデアや意見を取り入れています。普段から歌っている歌や踊りを生活発表会に向けて子どもたち皆で完成させ、表現することの喜びを皆と一緒に味わえるよう支援しています。</p> <p>③ 運動会、誕生会、保育発表会、卒園式など、大勢の前で発表したり、表現する機会を多く持っています。それらを通して自信が持てるようにしています。</p> <p>(ヒアリング、保育課程、年間指導計画で確認しました)</p>
<p>(8) 生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 保育士が工夫しながらその月の行事についてのお話やお楽しみなどを毎月行っている。</p> <p>② 身近な草花を使って色水遊びやおまごを楽しんでいる。</p> <p>③ 散歩に行き自然に触れる機会を多く持つようにしている。</p>	<p>① 職員は毎月、その月の行事についてのお話やお楽しみなどを、子どもが興味がわくように工夫しながら話しています。その中で、子どもたちはしっかりと聞くことを学んでいます。</p> <p>② 4歳児が育てた朝顔やおしろい花を使って色水遊びをしたり、和紙を濡らして絵具で染めたり、生活や遊びの中で子どもの興味や関心が持てるように工夫しながら楽しんでいます。</p> <p>③ 日常的に散歩をして自然に触れる機会を多く持っています。近くの水田のザリガニやカエルに子どもたちは興味津々です。</p> <p>(ヒアリング、年間指導計画、保育日誌で確認しました)</p>
<p>(9) 生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会</p>	<p>① 畑や道路を利用して野菜や草花を育て収穫の喜びを味わっている。</p>	<p>① 子どもたちはチューリップや朝顔など草花を育てています。また、畑や第二グラウンドへの通路で、野菜を栽培しています。何を植えるか子どもたちと相談し、きゅうりやトマト、じゃがいも、さつまいもなど様々な野菜を育て収穫の喜びを味わっています。節分の</p>

<p>や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>② 花壇やプランターで身近な草花、木を見ることで四季を感じる事が出来るように工夫している。</p> <p>③ 園庭や虫探しや田んぼでザリガニ、オタマジャクシ、カエル等生き物探しを楽しむようにしている。</p>	<p>豆まきで使った豆を植え、枝豆がたくさん出来ました。</p> <p>② チューリップや朝顔、パンジー、葉ボタンなど花壇やプランターで四季折々の花を植えています。第二グラウンドのイチョウの葉の紅葉や、水田の様子など、自然に囲まれている環境で四季を身近に感じられます。</p> <p>③ 園庭では、団子虫などの虫探しをしています。近くの水田ではザリガニ、オタマジャクシ、カエル等がいて生き物に興味を持てる環境です。セミなどの虫探しを通して命の大切さを学んでいます。</p> <p>(ヒアリング、年間指導計画、保育日誌、観察で確認しました)</p>
<p>(10) 自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 畑で野菜を育て収穫し食べる喜びを味わい、野菜の皮むき等の手伝いをして食材に興味を持つようにしている。</p> <p>② 食育の日には調理員が食材を見せ、お話をする機会を設けている。</p> <p>③ 一人ひとりのリズムに合わせてトイレトレーニングを行っている。</p>	<p>① 畑で野菜の種まきから収穫まで体験し、食べる喜びを感じています。収穫した野菜を給食で食べたり、さつまいもを園庭で焼き芋にして食べたり、食に興味を持たせる取り組みをしています。</p> <p>② 朝、玄関にその日の給食に使う食材「今日の食材」を展示しています。毎月19日は食育の日と決めていて、調理員が食材を見せて話をする機会を設けています。</p> <p>③ 職員は一人一人の排尿間隔を把握しています。一人一人のリズムやタイミングに合わせて無理強いしないトイレトレーニングを行っています。</p> <p>(ヒアリング、年間指導計画、保育日誌、年間給食食育計画表)</p>
<p>(11) 身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① シールや名前を使って自分の持ち物がわかるように環境を整えている。</p> <p>② 一人ひとりの発達をふまえ、身のまわりのことを自分でしようとする意欲を見守り援助すると共に職員間での共通理解を大切にしている。</p> <p>③ 絵本や人形劇をとおして食事や休息の大切さが理解できるようにしている。</p>	<p>① 目で見てすぐ分かるようにその子だけのシールや名前で自分の持ち物が分かるようにしています。</p> <p>② 職員は、着替えの時など、子どものやりたいという意欲を大切に、やりたい気持ちを受け止め、自分で出来た達成感、喜びを感じられるような援助やかかわりをしています。</p> <p>③ 絵本や栄養士・調理師グループによる人形劇などを通して食べ物や食事、休息の大切さを楽しんで理解できるようにしています。</p> <p>(ヒアリング、観察、年間指導結果、観察で確認しました)</p>

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みの アピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
(1) 子どもの豊かな心と身体をはぐむための特徴的な取り組みについて説明してください	<ul style="list-style-type: none"> ① 伝統的な行事、地域の特性を生かし、豊かな経験や魅力的な活動を沢山経験できるようにしている。 ② 園庭と第2グラウンドがあり乳児と幼児がそれぞれの発達に合わせた遊びを楽しめようとしている。 ③ リトミックを取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 獅子舞、どんど焼きなど伝統的な行事を取り入れています。節分では、園内と一之宮地区の鎮守と伝えられる神社で、豆まきを行い一年の無病息災を願う地域の行事に参加して豊かな経験を得ています。夏には、皆で作ったダンボールの御神輿が、神社や駅に展示されました。 ② 園庭とグラウンドがあり、乳児用と幼児用で使い分けています。それぞれの発達に合わせた遊びを楽しめ、年齢に合わせた体力向上に取り組んでいます。 ③ リトミックを取り入れて、音楽に合わせて体を動かすなど新たな表現方法を学ぶと共に、子ども達は楽しみながら体力作りをしています。 (ヒアリング、年間指導計画、観察で確認しました)
(2) 保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関する特徴的な取り組みについて説明してください	<ul style="list-style-type: none"> ① 外国籍の子に関しては、手紙にルビをふったり口頭での関わりを心がけている。 ② 乳児保育では乳児は出来るだけクラスごとに保育し安定を図っている。戸外と室内に分かれたり子どもの体調に配慮を行っている。 ③ 幼児、乳児用園庭があり長時間保育時も安全に体力作りが出来るようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 外国出身の親子に対しては、日本語の文章では理解が難しい面があり、簡単な日本語を使って直接話すなどで、意思疎通を図っています。特別に配慮が必要な子どもに対しては、思いをよく聞き取り、わかりやすく簡潔にその子だけに話すなど、丁寧な関わりをしています。 ② 乳児保育では、固定の職員と係わり触れ合うことで、子どもに安心感が得られるよう支援しています。子どもの体調に配慮し、無理のない保育をしています。 ③ 長時間保育での外遊びは乳児用、幼児用のそれぞれの園庭で安全に遊べるように配慮をしています。不安にならないように子ども達の気持ちを受け止め、スキンシップを図る等、係わりを大切にしています。 (ヒアリングで確認しました)
(3) 健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育な	<ul style="list-style-type: none"> ① アレルギー疾患を持つ子に対してはアレルギー受け入れ手順に沿って受け入れている。保護者のチェックした献立表をもとに調理員、保育士が献立を確認し給食を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① アレルギー児の給食提供当たっては、保護者と面談の上、医師の指示書に基づき「アレルギー受け入れ手順」に沿って除去食、代替食を提供しています。給食提供に当たっては、給食室で調理員が確認後、担当職員2人で再度確認してから提供しています。

<p>どの保育に関する特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<p>② 体調不良の時は家庭との連携において調整食を提供している。</p> <p>③ 離乳食食材目安一覧表を家庭と園でやりとりし、子どもにあった離乳食を提供している。</p>	<p>② 子どもの体調不良の時は家庭と連携して、おかゆやうどんなど消化のいい配慮食を提供しています。</p> <p>③ 「アレルギーが心配な子の離乳食」を配布し、気をつけたい7つのポイントを説明して注意喚起をしています。「離乳食食材目安一覧表」を使い、家庭と園で連携を取り、家庭で使い始めた食材を使用して、園で調理して提供しています。</p> <p>(ヒアリング、アレルギー受け入れ手順、保育日誌、離乳食食材目安一覧表で確認しました)</p>
<p>(4) 食に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① ラッキーさん、リクエスト給食、自由食など子ども達の希望を給食に反映できるよう工夫している。</p> <p>② どんど焼き、もちつき、焼き芋、炊き出し訓練では素材を実際に目にし触れ、作る過程を共に経験している。</p> <p>③ 自分達で育てた夏野菜を収穫しその喜びを体感できるようにしている。</p>	<p>① 子ども達のリクエスト給食、自分の好きな部屋で食べられる自由食、お皿の裏のシールで当たりがあるラッキーさんなど、楽しく食べるための工夫をしています。ラッキーさんは当たったら願い事を聞いてもらえるため、好きな食べ物を大盛りにももらったり、調理員さんといっしょに食べたりしています。</p> <p>② どんど焼きでは、柳の枝に団子を丸めてつけたり、年末には保護者と一緒に餅つきをしたり、収穫したサツマイモを焼き芋などの行事食を取入れています。寒川町保幼小中学校合同引取り訓練後の炊き出し訓練では、小麦アレルギー児へ配慮し、園庭でご飯を炊いて試食をしました。年長さんはカレーを保育室で作ります。食に関する様々な体験を楽しんで出来るように工夫をしています。</p> <p>③ 子ども達が種まきから収穫まで世話をした野菜が、調理されて給食に登場するし、子ども達は大いに喜んで給食を味わうなど、食育にも力を入れています。</p> <p>(ヒアリング、保育日誌で確認しました)</p>
<p>(5) 家庭とのコミュニケーションに関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 子どもの普段の様子や行事の様子を保護者に知ってもらう為に写真やコメントで紹介している。</p> <p>② 連絡帳やりとりや懇談会、個人面談の設定をしている。</p> <p>③ その日の活動や子どもの様子がわかるよう、クラス毎にホワイトボードに掲示を行っている。</p>	<p>① 保育中の子ども達の様子や行事の様子は、写真で掲示し、お迎え時に目で見確認出来る様にしています。</p> <p>② 連絡帳では、園での様子が分かるように担任から子どもの様子を書きこんでいます。懇談会に欠席の保護者のために、何が話されたかを保育室の前に掲示して周知しています。個人面談は随時行っています。</p> <p>③ 玄関にあるホワイトボードではクラス毎にその日の活動が分かるようになっています。</p> <p>(ヒアリング、掲示、ホワイトボードで確認しました)</p>

<p>(6) 地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 園庭開放を行い地域の方がいつでも遊びに来ることができる。行事のお誘いをしている。</p> <p>② 地域子育て支援として「保育園で遊ぼう」の開催、今年度から赤ちゃん向けの内容をとり入れた。園児と未就園児の交流の場を設けている。</p> <p>③ ファミリーサポートセンターのまかせて会員研修に講師として保育士を派遣している。</p>	<p>① 月曜日から金曜日の9時半から11時半ころまで、園庭解放をしていて、地域の子どもと一緒に遊べるようにしています。園のフェンスには園の行事内容とお誘いが貼ってあります。</p> <p>② 「保育園で遊ぼう」を地域の子育て支援として開催しています。乳児の参加が多かったので、乳児向けの内容を取り入れています。お母さん同士の友達作りのきっかけや、交流の場となっています。</p> <p>③ 職員は、寒川町ファミリーサポートセンターの自宅で子どもを預かる「まかせて会員」の研修の講師をしています。</p> <p>(ヒアリング、掲示、チラシで確認しました)</p>
---	---	---